

●スガモフラット 202
1DK 26.4㎡+コモンスペース
家賃 90,000円/月

所在地：東京都豊島区巣鴨5丁目
最寄駅：JR山手線「巣鴨」駅から徒歩13分
都営三田線「西巣鴨」駅から徒歩6分
都電荒川線「新庚申塚」駅から徒歩2分

居住人数：23名程度（大人+子ども）
※共用部分：コモンスペース（リビング、ダイニング、キッチン）ランドリー、洗濯干し場、ガーデン、ゲスト用トイレ
共益費など：組合費6,000円/月・人
※入居時預かり金<敷金>2ヶ月分
<組合出資金>25万円/人



JR山手線「巣鴨」駅からも歩いて超便利!!
小学校もすぐ近く。立地も良いですが、PTA会長さん、町会長さんなど、地域の皆さんと居住者とのつながりもあって、安心の暮らしができますよ!



スケジュール

●住みたい方オリエンテーション & 居住相談

コレクティブハウスに住みたい暮らしづくりに興味のある方
毎週木曜日 19:00~21:00
第2、第4土曜日 10:00~12:00 (12/8は休み)
参加費：無料
会場：目白CHCオフィス
※事前申込制です。
※日程を変更する場合があります。
※日程が合わない方は個別に対応しますのでお問い合わせください。

●コレクティブハウジング入門

コレクティブハウジングのことをお知りになりたい方
10月 6日 (土) 10:00~11:30
10月16日 (火) 13:30~15:00
10月26日 (金) 19:00~20:30
11月 3日 (土祝) 10:00~11:30
11月13日 (火) 13:30~15:00
11月23日 (金祝) 19:00~20:30
12月 1日 (土) 10:00~11:30
12月11日 (火) 13:30~15:00
12月19日 (水) 19:00~20:30
参加費：3,000円
会場：目白CHCオフィス

●コレクティブハウス見学会

実際のハウスを見てみたい方
スガモフラット
10月20日 (土) 13:00~14:30
コレクティブハウス聖蹟
10月27日 (土) 14:00~16:00
コレクティブハウス大泉学園
9月30日 (日) 13:30~15:00
11月25日 (日) 13:30~15:00
参加費：4,000円
会場：各ハウス

居住者のブログ

実際の暮らしの様子は、コチラ
スガモフラット
<http://blog.goo.ne.jp/sugamos2014/>
コレクティブハウス聖蹟
<http://chcseiseki.blog60.fc2.com/>
コレクティブハウス大泉学園
http://blog.livedoor.jp/ch4_oizumi/

投稿コーナー

【おやじ (イジリ) ギャグ】
おとうさん、
良いヅラ買ったって 言い辛かった?
↓
さらにいえば愛知県三河周辺では
良いヅラ買ったって 言い辛かったズラ。となります (H)

画像自粛中

「投稿コーナー」次号の募集は

お題は「印象に残った旅先」。皆様の投稿を募集しております。
写真、コラム、川柳、何でもOK!
ペンネームを添えて、collecollego@gmail.comまで。

「これこれ新聞」編集サポーター募集!

これこれ新聞編集部では写真を撮ったり、記事を書いたり、アイデアを出してくださる、サポーターを募集しています。
collecollego@gmail.comまでご連絡ください。

【編集後記】

夏風邪で咳が止まらない私をあからさまに覗みつけるお婆さん。
そんな顔しても咳は止まらないのよ。すみません

お知らせ

目白オフィス 毎週木曜午後は OPEN DAY

会員のみなさんにお気軽にお越しいただけるよう、毎週木曜午後はオフィスオープンデーとしています。事務局メンバーがおりますので、お話をしながら、関連書籍や資料などもご覧いただけます。目白にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

※メンバーが不在の場合もありますので、事前に事務局までご一報ください。
TEL: 03-5906-5340 / E-mail: info@chc.or.jp

●Facebook ページ公開中

右のQRコードからアクセスしてください。



発行 / NPOコレクティブハウジング社 (CHC) ホームページ <http://www.chc.or.jp/>
〒171-0031 東京都豊島区目白3-4-5 アビタメジロ302
TEL: 03-5906-5340 FAX: 03-5906-5341 E-mail: info@chc.or.jp

これこれ新聞 vol.26
定価200円 (税込)
定期購読2,000円 (年間/送料別)

もっと知りたい! コレクティブハウスのあれコレ



隔月刊
CHC

これこれ新聞

【リレー連載】コレクティブハウスとは：共生の社会技術

誰でも望めば「そこ」に住むことができる。住むと「そこ」の中の住人たちと繋がりを、さらに「そこ」の外の「地域/社会」とも繋がっている状態になる。「個人/家族」が剥き出しの状態「地域/社会」とつながるのではなく、「そこ」での仕組みや暮らしは「個人/家族」と「地域/社会」との間の物理的・精神的な緩衝材として機能する。住まいの中にそうした機能がある「そこ」の暮らしは、つくづく幸せだなと思う。(編集部M)



コレクティブな2018夏休みレポート特集!

これキャン2018 @西湖

今年で2回目、夏休み恒例となりつつあるコレクティブハウスの合同キャンプ「これキャン」。今夏は7月21~22日で西湖に出かけ、居住希望会員、サポート会員、各ハウスの居住会員、CHCスタッフと、会員種別を交えた交流の場となりました。4組の参加者から感想文をいただきましたのでご紹介します。

※ ※

息子と2人で初参加。現地に着くとテント設営や子守りなど各々が自発的に役割を見つけ動き始め、スムーズに準備が進んでいきました。この光景にコレクティブの真髄を感じました。キャンプ場も湖畔の素敵な景色の中にあり、バーベキューをして、ボートに乗って、湖で泳いで、虫を捕って、温泉に入って楽しいことが盛りだくさんでした。

はじめはごちなかった子どもたちも勝手に遊びだし、息子はお風呂も私とは入りませんでした。キャンプって疲れるイメージでしたがとっても楽しいキャンプでした。息子は帰りの車中で「来年も絶対参加する」と言っていました。(居住会員T)

※ ※

家族初キャンプでした。親の我々もキャンプは超初心者だったので、キャンプ玄人の皆さまに一から丁寧に教えていただきながら、テント設営や炭火起こし、調理等をし、また合間に子供達とボートに乗ったり、水遊びをしたりしました。

夜中にふと見上げた満天の星空や、早朝の朝もやのかかった湖畔の様子が美しかったこと、ラッキーにもセミが脱皮して羽根を乾かしている様子を見れたこと、朝飯に昨夜残った焼きそばを、焼いたパンに挟んで食べたら想像以上に美味かったこと、他のコレクティブハウスの子達と一緒にキャーキャー言いながら川で遊んだこと、どれもよい思い出です。

「コレクティブハウスに住んでいる」という共通点しかないんだけど、生き方の価値観をある種共有している人たちと一緒にキャ



▶集合写真で必要?と思いつつも、とりあえずパチリ。
▼西湖で泳いで最高!



ンプで交流できたのもよかったです。これからもイベントを通じてゆるーく繋がっていきたいです。(居住会員M)

※ ※

事前の準備や案内をしていただけたおかげで、親子とも初キャンプでしたが何の不安もなく参加できました。普段の外出では3歳の息子につきっきりになりますが、これキャンでは子ども同士がすぐに打ち解けて遊んでくれたことや、その子どもたちの面倒を近くにいる大人が見てくれていたため、安心してテント設営やBBQの準備ができました。

ハウスの集まりでは家庭の枠をこえて子供に接してもらえるのありがたいです。各自が自立(ある種自分勝手に?)しつつ、必要ところで自然と協働する感じがコレクティブっぽいなーと。次回家族揃って参加できればと思っています。(居住会員 Y)

※ ※

看護実習中で、寝不足&遅れての参加だったので、申し込みを迷っていましたが、参加できてよかったです。同じような暮らしをしている人とはすぐに仲良くなって、話をしているうちにコレクティブハウスが今までよりも大好きになりました。参加者の子どもが可愛くて、今回は元総社コモンズの子もたちともこれキャンと一緒に参加したいなあって思いました。行きは3時間で到着、帰りは睡魔に襲われ8時間かかりました。けど、みなさんに会えて、楽しい時間を過ごせてよかったです。(居住会員S)



8人用のパオみたいなテント(大人も初めて)。



他にタープを張ったり、コンロを用意したり



燃えろ燃えろ~(大人も子ども)



話は尽きません(主に大人たち)

from USA Capitol Hill Urban Cohousing

https://capitolhillurbancohousing.org/



アメリカ合衆国ワシントン州シアトルにあるCapitol Hill Urban Cohousing。街の中心、シアトル大学の近くにあり、9世帯が暮らす集合住宅形式のハウスです。

2010年から何人かで活動を開始し、2016年にハウスがオープンしました。このハウスの住人であり、ハウスをデザインした建築家のキム(Grace Kim)さんは、今や"Cohousing業界(?)



前回に引き続き(株)ヒゲプロの梶浦さんとCHC理事狩野と編集部阿部の雑談二回目です。話はデザインに展開していきます。お楽しみください。(以下、敬称略)

「暮らす」にまつわる公開雑談 ヒゲプロさんの巻 その2

梶浦：子供の時は、船の煙突の模様、飛行機の尾翼のところのマーク。車だと、交通標識。あれを見るのが、ものすごく好きだったんです。サインデザインの持っている魅力なんです。言語が無くてでも理解できる。そのために、完成度がすごく求められるんですよ。

狩野：そうですね。余計なものをつけられないし。

梶浦：非常口だって、ものすごく紆余曲折の中であの逃げる人になっただけ話ですよ。デザイナーになって、仕事をしていくうちに途中それをちょっと忘れてたんですね。サインデザインが大好きだったってこと。もともと、デザイナーは古い言葉では図案家って言われていたんですよ。クリエイティブディレクターではなかったんですよ。もちろん、クリエイティブディレクションとしてのデザインもあるんですけども。

狩野：だんだん、幅が広がっていったんですね。

枯れた技術

梶浦：今は、デスクトップでなんでもできるようにってなりましたから。昔は、デザイナーは文字はいじらなかつたんですよ。写植の指定表みたいなもので、専門の方に指示していたわけ。今は、全部やらなくちゃいけなくなりました。仕事でデジタルになったという中で、デザイナーの描く意味、図案を作る意味っていうものに、こだわったことがないって・・・これも、パブリックな活動をやったことで気づいたことだったんですよ。「枯れた技術」って言葉があるんですが、今、その言葉が気になっていて。その意味を説明している文章を読みますね。『ソフトウェア、ハードウェアが発売公開されてから長期間経過し多くの人達の手によって不具合等が検証修正され利用にあたっての注意点などの情報が大量に蓄積されている状態のこと、安定した、運用導入ができるという、良い意味で使われる』。

阿部：ってことは、枯れてくるといい感じになるんですかね。人間も。

梶浦：そういうことです。

阿部：そっか、シンプルになればいいんだ、無駄を省きシンプルに生きる。

梶浦：そういうことだと思います。



「枯れた技術」の代表格ソース。初期のシステム事故を克服し、現在は信頼性が極めて高い。



では知らない人がいないくらい有名な人となりました。2017年にバンクーバーで開催されたTED TALKで「コ・ハウジングでもっと幸せに、もっと長生きに」という話をしたからです。この動画は、200万回近くも再生されています。私は何度も再生してヒアリングしたのですが、最近日本語の字幕も出るようになりましたので、必見です!! (編集部員T)

【TED動画URL】https://www.ted.com/talks/grace_kim_how_cohousing_can_make_us_happier_and_live_longer

狩野：枯れた技術を目指したいっていう、デザインの哲学を梶浦さんは持ってらっしゃる。

分かりやすいということ

梶浦：そうです。でも、非常にデコラティブなものも大好きです。日光東照宮とか、デコラティブだけど、思想としてはすごくシンプルだと思うんです。すごく、わかりやすい。

狩野：ただ、わかりやすいことの畏があるって、わかりやすいを目的化しちゃうと、すごくわかりにくくなったり、上っ面だけになって本質を失うこともある。

梶浦：わかりやすいってことはストレスが溜まるんですよ。ギャップが出るからね。

阿部：そう! お芝居でも、ダンスでも。言葉で説明できないものは表現してもわからないって、言われることがあります。なんかわからないけど面白かったでも、良いと思うんだけど・・・それを認めない世の中はなんだか怖いんですね。

狩野：結局人を信じるってことなんですよ。投げかけたものに対して、あなたは何かを受け取ってくれますか?という事のやり取りっていうのを信じないと、この世の中、それこそ、まちづくりなんてやっていられないですよ。そういえば、小学生の頃、国語が大嫌いだったんです。先生に言われて本を読んで、無理やり感想を書かされたりして、正解があるみたいに求められるじゃないですか。

梶浦：国語は違和感ありますよ。解釈みたいな曖昧なもの一つの型にはめていくって、本来は教育としてやってはいけないことですよ。

狩野：それも、結局、子供を信じていないんですよ。いろいろなことを感じて、そこから、議論して、新しい発見があるはずなのに。最近NPOの中で話しているんですが、日本で子供に、社会保障の話とか、年金の話、民法とか、結婚って何なのか、そういうことを教える授業ってないじゃないですか。学ばないままに大人になって、いきなり選挙っていったってねー。みんな違っていて当たり前という前提で、議論できるような教育をやっていかないと、いつまでたっても、サービスを得られないでイライラするっていうことになっちゃうし、自分でクリエイティブに何かを生み出す人は育たないですね。



タウンコレクティブみなこい (南小岩)

共奏キッチン@南小岩 夏野菜収穫祭

2018年8月26日にタウンコレクティブ南小岩にてコモンミールが開催されました。この日は定例会開催後に、元居住者が借りている近所の農園の一角で栽培している野菜を収穫してきました。採れた夏野菜で具沢山カレーをつくり、和室で食卓を囲みました。

今回は「共奏キッチン@南小岩夏野菜収穫祭」というイベントとしてFacebookで告知もしました。共奏キッチンというのは、多様な多世代がにぎやかに集う、どなたでも参加できるオープンなイベントで、本家は東京自由ヶ丘の地域リビングである古民家「シェア奥沢」で毎月開催されています。

今回のコモンミールは、イベント名を拝借して冠した本人も共奏キッチンであることは忘れて過ごしていましたが、各自の自主性に任せて皆で楽しく夕御飯を作って食べて語らったので



コレクティブハウス聖蹟

これからカフェ 流しそうめん&BBQ

「暑かったあ〜」「疲れた〜」と、8月のこれからカフェ「流しそうめん・BBQの会」は終了しました。

8月25日、気温37.4度を記録する猛暑の中、朝8時から準備、12時オープン。15時過ぎに最後のそうめんを流しました。

第1回の流しそうめんは2015年8月。スガモンズの話に刺激され、稲城の里山から3本の竹を運び、2階のウッドデッキから流しました。以後4回。だんだん竹組がエスカレートして、今年はなんと3階のテラスから竹7本で1階駐車場に流しました。水道の場所と排水口の位置を考

えながら、どう竹を組むか、どこで支えるか、まる1日かけて「大人たちの自由研究」。

私はひたすらキッチンでそうめんの茹で係。夏休みの終わりです。(編集部O)



居住者有志企画

千葉ライフを味わう一日 上総一ノ宮の街歩き

満員電車、コンクリートだらけのビル群、混み合った道路。そういった窮屈な部分を耐えなければならぬ東京からの脱出は、都内で日常生活を送る多くの者が時々想像するものだろう。実際に田舎に移住したら、どのような生活環境になるのか、調査に出かけてみた。9月8日、TC南小岩のオーナーであるIさんに、彼の別荘がある上総一ノ宮を案内してもらった。

東京駅から特急に乗って約1時間で上総一ノ宮に着く。近くにオリンピックのサーフィン会場がある海岸に立つと、青空の下で見渡わす限りの砂浜と活発な波の立つ海が広がる。普段東京で生活し、ほとんどビルしか眺めない者にとって、この広大さは新鮮でたまらない。裸足できれいな砂浜をべたべた歩くと気分がさらに盛り上がる。

本日のおすすめランチ



海岸の周りはサーファー向けのおしゃれなレストランや宿泊施設が並んでいるが、海から少し離れると昔ながらの別荘地にたどり着く。住民が野菜を育てている畑が点々と、落ち着いた家のある「田舎感」が広がる。Iさんの別荘もその一角にある。家の空間は昭和のヴァカンスの過ごし方を想像させる。2階に広めの和室、1階には庭に面したゆったりとしたダイニング・キッチンがある。庭の真ん中には、10人ぐらいが座れるベンチのあるあずま屋が建つ。Iさんのお父さんは昔そこで勉強会を開いたそうだ。

都心から1時間も電車に乗ったら海が遊び放題で、しかも比較的落ち着いた街があるというのは今回の大きな発見だった。昭和のヴァカンス、過ごしてみたいな... (居住者U)



庭のあずま屋